【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公表番号】特表2006-528622(P2006-528622A)
【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)
【年通号数】公開・登録公報2006-050
【出願番号】特願2006-520930(P2006-520930)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　 9/16　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/38　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/42　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　 9/16
Ａ６１Ｋ　47/02
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/42
Ａ６１Ｋ　31/00
Ａ６１Ｐ　17/00　　１０１
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　29/00

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月23日(2007.7.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
外傷、蜂巣炎、及びそれらの組合せを含む軟組織の化膿した炎症性損傷を処置する組成物であって、
ａ．アルギネート、ゼラチン、ペクチン、カラゲニン、寒天、セルロース誘導体、アクリル酸とアクリル酸エステルとのコポリマー、及びそれらの任意の組合せからなる群から選択される架橋性ポリマーと、
ｂ．高浸透圧性化合物を含む機能性添加剤と
を含有する顆粒を含むことを特徴とする組成物。
【請求項２】
前記顆粒は、５００～３０００ミクロンの範囲の粒径を有することを特徴とする請求項１に記載の組成物。

【請求項３】
前記顆粒は、実質的に球状であることを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記高浸透圧性化合物は、塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、海塩及びそれらの任意の組合せから選択されることを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記架橋性ポリマーは前記組成物内に１１～２９重量％の範囲の量で存在し、前記高浸透圧性化合物は前記組成物内に７０～８０重量％の範囲の量で存在することを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
前記架橋性ポリマーは前記顆粒内に１１～２９重量％の範囲の量で存在し、前記高浸透圧性化合物は前記顆粒内に７０～８０重量％の範囲の量で存在することを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項７】
前記機能性添加物構成成分は、殺菌剤、麻酔剤、抗酸化剤及びそれらの任意の組合せをさらに含むことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
外傷、蜂巣炎、及びそれらの組合せを含む軟組織の化膿した炎症性損傷を処置するための薬剤を製造するための顆粒であって、前記顆粒が
ａ．アルギネート、ゼラチン、ペクチン、カラゲニン、寒天、セルロース誘導体、アクリル酸とアクリル酸エステルとのコポリマー、及びそれらの任意の組合せからなる群から選択される架橋性ポリマーと、
ｂ．高浸透圧性化合物を含む機能性添加剤と
を含むことを特徴とする顆粒。
【請求項９】
前記顆粒は、５００～３０００ミクロンの範囲の粒径を有することを特徴とする請求項８に記載の顆粒。
【請求項１０】
前記顆粒は、実質的に球形であることを特徴とする請求項８に記載の顆粒。
【請求項１１】
前記高浸透圧性化合物は、塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、海塩及びそれらの任意の組合せから選択されることを特徴とする請求項８に記載の顆粒。
【請求項１２】
前記架橋性ポリマーは前記顆粒内に１１～２９重量％の範囲の量で存在し、前記高浸透圧性化合物は前記顆粒内に７０～８０重量％の範囲の量で存在することを特徴とする請求項８に記載の顆粒。
【請求項１３】
前記機能性添加物構成成分は、殺菌剤、麻酔剤、抗酸化剤及びそれらの任意の組合せをさらに含むことを特徴とする請求項８に記載の顆粒。
【請求項１４】
局所療法に使用するための顆粒であって、
ａ．アルギネート、ゼラチン、ペクチン、カラゲニン、寒天、セルロース誘導体、アクリル酸とアクリル酸エステルとのコポリマー、及びそれらの任意の組合せからなる群から選択される架橋性ポリマーと、
ｂ．高浸透圧性化合物を含有する機能性添加剤と
を含むことを特徴とする顆粒。
【請求項１５】
前記顆粒は、５００～３０００ミクロンの範囲の粒径を有することを特徴とする請求項１４に記載の顆粒。
【請求項１６】

前記顆粒は、実質的に球形であることを特徴とする請求項１４に記載の顆粒。
【請求項１７】
前記高浸透圧性化合物は、塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、海塩及びそれらの任意の組合せから選択されることを特徴とする請求項１４に記載の顆粒。
【請求項１８】
前記架橋性ポリマーは前記顆粒内に１１～２９重量％の範囲の量で存在し、前記高浸透圧性化合物は前記顆粒内に７０～８０重量％の範囲の量で存在することを特徴とする請求項１４に記載の顆粒。
【請求項１９】
前記機能性添加物構成成分は、殺菌剤、麻酔剤、抗酸化剤及びそれらの任意の組合せをさらに含むことを特徴とする請求項１４に記載の顆粒。